

ふれあい

西北・岩屋ふれあいセンターだより 令和5年5月 第201号

〒852-8051 長崎市西北町13番13号 TEL843-7109

運営委員会発行

<高齢者の介護とは！>

現在は「少子高齢化」で介護サービスを受けている高齢者が増加している。今後も益々その傾向は強くなる、と新聞報道している。それによると、現在50歳代が90%、40歳代も89%の方々が将来のサービスに強く不安を感じているとのこと。つまり、実際に介護サービスを受ける人が多くなる高齢者以上に、働き盛りの世代が将来への不安を強く抱えていることが明確になったようだ。

私も「要介護1」のため、デイケアを利用している。男性は3分の1、女性が3分の2の人数で、毎日30名内外の患者が控室で朝から夕方まで治療を受けている。男性患者は殆んど無口で会話があまりないが、女性はにぎやかにおしゃべりしている。そのためか、認知症らしき人は男性がほとんどである。

「認知症の人は『ひどい物忘れ』の特徴のように、自分が話したり、聞いたり、行動したことはすぐに忘れてしまう。しかし、感情の世界はしっかりと残っていて、瞬間的に目に入った光が消えたあとでも残像として残るように、その時抱いた感情は相当時間続く。このことを『感情残像の法則』と呼ぶ。」「認知機能の人の感情が鋭敏で変化しやすいことは、介護したことがある人なら、誰でも経験している。注意したり、否定したりすると、突然険しい表情になって、怒り出すのは日常的だ。本人の気持ちを受け入れて合わせれば、穏やかな表情にかわる」(杉山 孝博 著「ど〜も」)

上記の様な人は私の病院に2人程おられ、物忘れのひどい人や車イスの人でも数名ずつおられる。私みたいに、単なる足・腰痛の人が大多数だが、認知症でないのでホッとして帰宅する。通院は治療のためだが、精神的安心度を受けるのが一番うれしい。更に、上記の患者さんのお世話をされる介護士さんたちのご苦労に頭が下がります。感謝々々です。

田川 悟

5月の行事予定

- 3日(水) すこやか運動教室 14:30~16:00
16日(火) お遊び教室 10:30~11:30
17日(水) すこやか運動教室 14:30~16:00

お知らせ

原爆被爆者定期健康診断

下記の日程で実施します

会場 西北・岩屋ふれあいセンター

日時 令和5年6月8日(木) 13:30~15:30

持参するもの 被爆者健康手帳
第一種健康診断受診者証又は
第二種健康診断受診者証と案内ハガキ

*問合せ先 (公財)長崎原子爆弾被爆者対策協議会(原爆健康管理センター)
もりまちハートセンター内 長崎市茂里町2-41 ☎844-3100

上の句

下の句

*下の句は何番でしようか

④ きりぎりす 鳴くや霜夜の さむしろに

① 衣かたしき ひとりかも寝む

藤原良経

④ わが袖は 潮干に見えぬ 沖の石の

② わがたつ袖に すみぞめの袖

前代僧正慈円

④ 世の中は 常にもがもな 渚漕ぐ

③ ふりゆくものは わが身なりけり

入道前太政大臣

④ み吉野の 山の秋風 小夜ふけて

④ あまの小舟の 綱手かなし

鎌倉右大臣

④ おほけなく うき世の民に おほふかな

⑤ ふるさと寒く 衣うつなり

参議雅経

④ 花さそふ 嵐の庭の 雪ならで

⑥ 人こそ知らね 乾く間もなし

二条院讚岐

(答) ④-① ④-⑥ ④-④ ④-⑤ ④-② ④-③



雑学

「土」が入る漢字

- ① ^{どそく}土□で上がる ② ^{つくし}土□が生える
③ ^{どひょう}土□に上がる ④ ^{トルコ}土□古を旅した

「不」が入る漢字

- ① ^{ふかく}不□にも泣き出す ② ^{ふもん}不□に付す
③ ^{ふそく}不□の事態 ④ ^{ふざま}不□な姿
⑤ ^{ふふく}不□を申し立てる ⑥ ^{ふつつかも}不□者ですが

「地」が入る漢字

- ① ^{ちす}地□を広げる ② ^{ちい}地□が上がる
③ ^{じだんだ}地□太を踏む ④ ^{ぜにごけ}地□が生えている

答

- 「土」 ①足 ②筆 ③俵 ④耳
(答) 「不」 ①覚 ②問 ③測 ④様 ⑤服 ⑥束
「地」 ①囿 ②位 ③団 ④銭